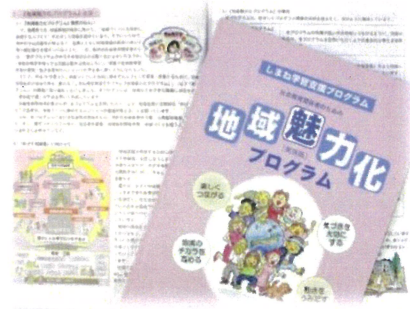


『地域魅力化プログラム』とは・・・



『地域魅力化プログラム』は、社会教育関係者（※1）に活用いただくことで、地域住民に主体的な“学び”と“動き”が生まれ、地域づくりに参画する人づくりの機運が醸成していくことを期待して作成しました。

参加型学習（※2）の手法を用いて参加者同士が交流しながら気づきを得るほか、話し合いを通して、今後の動きについて考えたり、決定したりすることをねらいとしたモデルプログラムを紹介しています。また、地域の実態に合わせて取り組めるよう、様々な手法や、企画・立案の手引きなどを紹介しています。

地域におけるさまざまな事業や活動・取組の中に、住民の学びを創出するツールとしてご活用ください。

（※1）市町村社会教育担当者、公民館等職員、コーディネーター、親学ファシリテーター、社会教育委員、地域振興関係者等、地域づくりを担う人づくりにかかわる皆さんを想定しています。

（※2）参加型学習とは、参加者が単に受け手や聞き手としてではなく、自ら気づき考えることを重視する学習方法のことです。

テーマとモデルプログラム

4テーマ20プログラムで構成しています。

1 地域のよさを考えるプログラム

- ①愛すべき わが町
- ②発想を替えて ハッピータウン
- ③活躍！コーレーシャー！！

3 地域の将来像を考えるプログラム

- ①元気な地域にするために必要なこと
- ②“笑顔あふれるまちづくり”にむけて
- ③“めざす子ども像”を考える①②（2回シリーズ）
- ④こんな町 めざそう！
どんなことできそう？①②③④（4回シリーズ）

2 地域資源の活用を考えるプログラム

- ①わが町 売り込み 大作戦！
- ②地域資源（ひと・もの・こと）をつなごう
- ③公民館で行う文化祭を見直そう①②（2回シリーズ）
- ④地域の“おたから”を活用しよう①②（2回シリーズ）

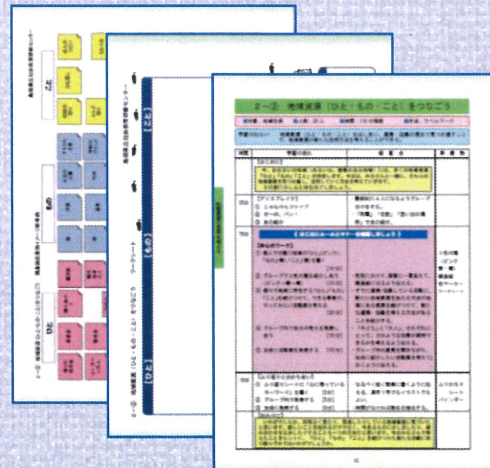
4 地域防災を考えるプログラム

- ①災害にあう前に必要なこと
- ②もし1日前に戻れたなら・・・
- ③いざ！避難所へ

内容構成



参加型学習の代表的な手法を9つ紹介しています。それぞれ手法の特性や進行例を載せています。



学習プログラムのねらい、進行例や進行上の留意点、ワークシートなどを載せています。



話し合いに入る前に有効なアイスブレイクを目的別に載せています。（5テーマ41種類）

このような場面での活用を期待しています!!

◇地域住民を対象にして、めざす地域像を明らかにする場面

3-④「こんな町めざそう！どんなことできそう？」を活用して、4回シリーズで話し合いを行う。

地域のよい面や問題点などを出し合い、地域の未来のためにできることを考える。そして、めざす地域像について考え、近づくためにできることを具体的にイメージして、実際の動きにつなげる。



◇各種地域団体の構成員を対象にして、防災研修を行う場面

4-②「もし1日前に戻れたなら・・・」を活用して、話し合いを行う。災害にあう前に、備えておくことやものを考えて、話し合うことで、災害に対する構えをつくり、減災に向けた意欲を高める。

◇中学生を対象にして、ジュニアリーダー研修を行う場面

1-①「愛すべきわが町」を活用して、話し合いを行う。わが町のよさを出し合うことで、よさを見つめ、愛着を深める。



◇社会教育委員を対象にして、地域資源を見直す場面

- ◇成人式実行委員を対象にして、成人式の内容を考える場面
- ◇青少年育成協議会で、めざす子ども像を明らかにする場面
- ◇各種職場の研修会で、仕事内容を精選する場面 等

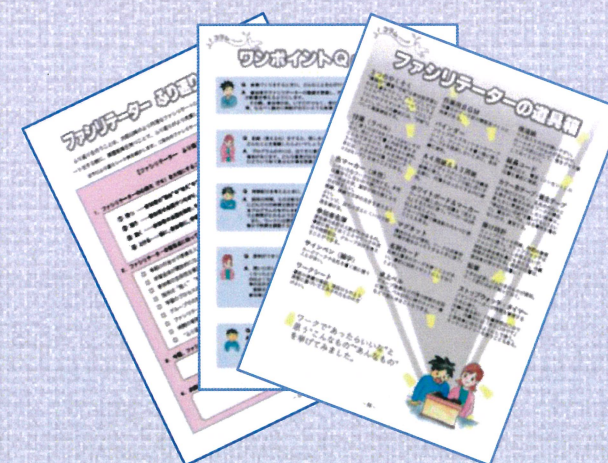
『地域魅力化プログラム』は、“学び”を仕掛ける方にとっての参考書です！

本プログラムは、地域において、そのまま活用いただくものではなく、それぞれの地域の実態に合わせてアレンジしながら活用していただくものです。対象に合わせて、テーマや時間配分、流し方や準備物を修正し、地域の課題に合わせて、使う人が工夫することで初めて完成します。

地域の実情や参加者の実態に応じて内容や流れを考えるため、学習プログラムを企画・設計する手順やポイントを取り上げています。

POINT

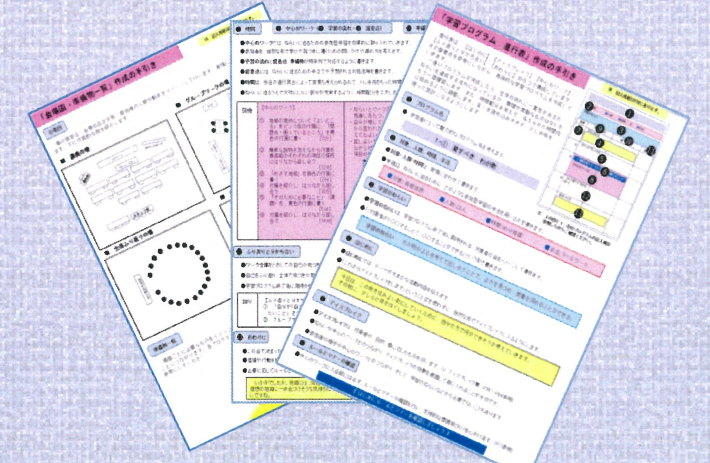
ファシリテーターへのアドバイス



「ファシリテーターの道具箱」「アイスブレイクについて」など、プログラムの進行や企画・設計に関わる内容をコラムとして載せています。

POINT

企画・設計する方へのアドバイス



「学習プログラム 企画・設計の手引き」として、「学習プログラム 進行表」作成の手引きや「会場図・準備物一覧」作成の手引きを載せています。